

令和5年度 新杉田地域ケアプラザPDCAシート公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や買物等に課題を感じている人も多ことから、令和2年10月より買物移動販売を開始しており、販売拠点も拡大中です(計6か所)。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。

第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気かけながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。令和5年度は特に子ども・子育てを推進テーマとし、杉田が子どもたちのふるさとになるように自治会町内会や団体の垣根を越えて地域全体で子育てを支援していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コロナ禍を経て変化した地域の情報を収集・把握し、よりよい地域づくりに向けた積極的な支援を行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ACP(人生の最終段階の医療・ケアを考える)の普及啓発ができていない地域を中心に外向き、横浜市人生会議短編ドラマを媒体とした講演開催や「もしも手帳」等の普及啓発を行います。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広報誌・SNS等の媒体、講座(地域のイベント含む)、個別相談等あらゆる機会を活用してフレイル予防の周知、啓発を行い、高齢の皆様の健康への取組みを支援します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	推進テーマ「子ども子育て」(キーワード:多様性)に合わせて、子育て世代へのニーズ調査や、関係機関との情報共有等のもと、推進委員会にて地域の現状共有・課題提起を行い、地域全体での取り組みを計画・実施できるよう支援する。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

【地域課題の把握に必要な基礎情報の把握、ならびに情報の継続的な更新】
地域アセスメントシートは今年度更新をおこない、地域支援チームで共有をおこないました。また、ヨコハマ地域活動サービス検索ナビの更新も今後随時実施していく予定です。

【ACPの普及啓発】
人生会議のドラマ上映を行っていない地域への講座を行うことができ、普及啓発につながっています。また、エンディングノート講座の開催もできています。

【フレイル予防の周知・啓発】
相談窓口での個別周知の他、地域の出前講座や食事会での周知、民生委員やささえあい活動委員の方々にも周知啓発を行いました。それを通して地域を越えた通いの場の創出もでき、地区を越えた活動参加に繋げることもできています。

【地域福祉保健計画の推進】
推進委員会にて、子育て世代の現状についてはおおむね地域住民との共有ができました。一方で、こちらの課題提起に対して、地域全体で取り組む気運を高め切れておらず、住民個人や単会ごとの頑張り終始してしまう面もあります。地福計画の目的や意義について改めて共通認識を持ち、地域全体が前向きに取り組めるような働きかけを検討していきます。

区からのコメント

地域情報を把握・整理し、アセスメントシートを発信することで、地域課題や強みがより見えやすくなりました。地域支援チームや包括レベル地域ケア会議などに活かされており、地域住民・関係機関を巻き込んだ「地域づくり」につながっていると思います。また、フレイル予防・ACPの普及啓発においては、ケアプラザでの事業に加え、地域に外向き、講座を開催することで、より効果的な啓発活動を実施できています。今後も、積極的なアウトリーチを実施していただき、「地域の声や期待」を事業につなげていくことを期待しています。